

10月19日（水） OP01 シグナル、幹細胞 / 座長：高田慎治（基生研）・川上厚志（東工大）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP01-1	9:30-9:45	林 茂生	国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター	Escargot controls the sequential specification of two tracheal tip cells by suppressing FGF signaling in Drosophila
OP01-2	9:45-10:00	高橋 知佳	京都大学大学院 生命科学研究科	ERK3 は上皮組織構築を制御する (authorship:高橋知佳、宮竹功一、日下部杜央、西田栄介)
OP01-3	10:00-10:15	細田 和孝	兵庫県立大学 理学部・大学院生命理学研究科	プラナリア再生過程において適切な器官配置を決める MAP3K の分子機構
OP01-4	10:15-10:30	安藤 和則	東京工業大学 生命理工学研究科 生命情報専攻	リザーブされた骨芽幹細胞によって骨組織の新生と再生は起こる
OP01-5	10:30-10:45	城戸 拓巳	関西学院大学 理工学研究科 生命科学科	iPS 細胞由来の毛髪モデル細胞の確立と解析の簡便化
OP01-6	10:45-11:00	安島 理恵子	国立遺伝学研究所 発生工学研究室	Wnt5a 濃度勾配によるマウス胚中胚葉細胞の運動制御
OP01-7 (P-10)	11:00-11:15	飯田 英明	京都産業大学 工学研究科 生物工学専攻	神経性網膜に内在する水晶体分化能を抑制する Notch シグナル：その破綻が水晶体への「分化転換」をもたらす
OP01-8 (P-11)	11:15-11:30	下條 博美	京都大学 物質-細胞統合システム拠点	形態形成過程における Delta-Notch シグナルを介した細胞間相互作用ダイナミクスの意義

10月19日（水） 遺伝研企画「発生と機能のイメージング」 / （世話人：水野秀信）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
発生と機能	11:40-11:55	菅生 紀之	大阪大学	1分子蛍光イメージングによる転写因子 CREB の神経活動依存的動態の解析
発生と機能	11:55-12:10	田中 洋光	京都大学	シナプス形成を誘導する接着分子と全反射顕微鏡の特性を利用したシナプス機能素子の動態イメージング
発生と機能	12:10-12:25	藤本 聡志	理研 CDB	発達期の嗅球における自発神経活動パターンの変化と回路形成
発生と機能	12:25-12:40	水野 秀信	遺伝研	ミクロとマクロのイメージングの統合による新分野の開拓

10月19日（水） OP02 極性、細胞運命 / 座長：澤育（遺伝研）・倉永英里奈（東北大）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP02-1	15:10-15:25	吉浦 茂樹	理研 CDB	Wnt proteins serves as directional cues for the Par-complex polarity and the nervous tissue growth
OP02-2 (P-12)	15:25-15:40	浅井 理恵子	University of California, San Francisco, CVRI	Oriented cell division drives the initial extension during primitive streak formation
OP02-3	15:40-15:55	中嶋 悠一郎	東北大 学際科学フロンティア研究所	細胞分裂方向の異常による上皮可塑性と腫瘍形成
OP02-4	15:55-16:10	浄住 大慈	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	Extracellular matrix ECM3 and QBRICK regulate primary mesenchymal cell migration in the sea urchin embryo
OP02-5 (P-13)	16:10-16:25	池田 達郎	京都大学大学院理学研究科動物発生学研究室 D3	ホヤ胚の予定脳細胞においてリプレッサーによる時間的な調節が脊索のプログラムを抑制する
OP02-6	16:25-16:40	小林 健司	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学教室	「リンケージ・ロジック」理論の実験的検証：ホヤ胚の遺伝子制御ネットワークへの適用
OP02-7 (P-14)	16:40-16:55	佐波 理恵	大阪大学大学院医学系研究科心臓再生医療学	マウス心内膜前駆細胞における Sox17 の発現と心臓形成における役割
OP02-8 (P-15)	16:55-17:10	宇佐美 文子	基礎生物学研究所 初期発生研究部門	マウス卵管における平面内細胞極性の解析

10月19日（水） 遺伝研企画「Early Development of Cancer（がんの初期発生）」（in English）

/（世話人：田守洋一郎）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
Cancer	17:20-17:35	田守 洋一郎 / Y. Tamori	遺伝研 / (NIG)	Epithelial tumors originate in tumor hotspots, a tissue-intrinsic microenvironment
Cancer	17:35-17:50	石谷 太 / T. Ishitani	九州大学 / (Kyushu Univ.)	Apoptotic elimination of cells lacking harmony of Wnt/ β -catenin signaling
Cancer	17:50-18:05	榎本 将人 / M. Enomoto	京都大学 / (Kyoto Univ.)	Src drives cell-to-cell propagation of JNK signaling to control tumorigenesis and regeneration
Cancer	18:05-18:20	昆 俊亮 / S. Kon	北海道大学 / (Hokkaido Univ.)	Role of cell competition in multi-sequential carcinogenesis

10月19日（水）18:30～19:10

Plenary Lecture (in English)

Didier Stainier博士（Max Planck Institute）

Title : Imaging cardiomyocyte cell behavior during development.

My laboratory investigates questions related to organogenesis including cell differentiation, tissue morphogenesis, organ homeostasis and function, as well as organ regeneration. We study these questions in zebrafish as well as in mouse and are currently looking at several mesodermal (heart, vasculature) and endodermal (pancreas, lung) organs. We utilize both forward and reverse genetic approaches, and aim to dissect cellular processes using high-resolution live imaging. One goal of our studies is to gain understanding of vertebrate organ development at the single-cell level, and beyond. This talk will focus on cardiac development and function, specifically on the process of cardiac trabeculation.

10月19日（水）19:20～20:00

日本発生生物学会 臨時総会

第49回大会（熊本）で予定しておりました総会を臨時総会として開催いたします。
学会員皆様のご参加をお願いいたします。

10月20日（木） 「発生と定量」 世話人：木村暁（遺伝研）・高尾大輔（遺伝研）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
発生と定量	9:15-9:30	高尾 大輔	遺伝研	イントロダクション
発生と定量	9:30-10:00	森下 喜弘	理化学研究所 生命システム研究センター	曲率を持つ上皮組織の形態形成過程における3次元変形動態の定量解析と実験データを反映した力学モデリングの試み
発生と定量-1 (P-16)	10:00-10:15	山本 一徳	総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻/国立遺伝学研究所 細胞建築研究室	細胞間の力学的な相互作用が細胞配置パターン形成に關与する
発生と定量-2 (P-17)	10:15-10:30	東 裕介	理化学研究所 生命システム研究センター	線虫 <i>C. elegans</i> の胚発生における細胞動態の定量解析
発生と定量-3 (P-18)	10:30-10:45	原 佑介	Mechanobiology Institute, Singapore	細胞形状ゆらぎに伴う細胞間張力変化と細胞接着分子動態の相互關係 ～ゆらぎから紡ぎだされる上皮の形態形成～
発生と定量-4 (P-19)	10:45-11:00	瓜生 耕一郎	金沢大学理工研究域自然システム学系	細胞移動が分節時計の同期に与える影響をイメージングデータと数理モデルで明らかにする
発生と定量-5 (P-20)	11:00-11:15	平島 剛志	京都大学再生医科学研究所	増殖する上皮管の径サイズ維持に働く多細胞動態システム

10月20日（木） OP03 神経 / 座長：鈴木えみ子（遺伝研）・川崎能彦（遺伝研）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP03-1	11:25-11:40	井村 英輔	筑波大学大学院 生命環境科学研究科	ショウジョウバエのステロイドホルモン生合成を制御する神経群の協調的機能
OP03-2 (P-21)	11:40-11:55	原田 綾乃	JT 生命誌研究館	アフリカツメガエル胚における G タンパク共益型受容体 P2Y4 の頭部形成における役割
OP03-3	11:55-12:10	清水 貴史	名古屋大学生物機能開発利用研究センター	ゼブラフィッシュ恐怖条件付け学習における小脳の役割
OP03-4	12:10-12:25	仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部解剖学教室	大脳皮質ニューロンの分化制御機構

10月20日(木) OP04 形態形成 / 座長: 上野直人(基生研)・松尾勲(母子医療センター研究所)

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP04-1 (P-22)	13:45-14:00	岸本 圭史	理研 CDB 呼吸器形成研究チーム	気管の形態形成における間充織の重要性
OP04-2	14:00-14:15	加藤 輝	自然科学研究機構・新分野創成センター	Microtubule-dependent balanced cell contraction accelerate epithelial tube fusion
OP04-3	14:15-14:30	上地 浩之	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター	集団細胞移動における細胞接着再構成の仕組みの解析
OP04-4 (P-23)	14:30-14:45	根岸 剛文	基礎生物学研究所	アフリカツメガエル先行中胚葉(leading edge mesoderm)の集団的移動における力場の測定
OP04-5 (P-24)	14:45-15:00	佐藤 有紀	九州大学大学院医学研究院	脈動による空間伸縮が形態形成に果たす役割
OP04-6 (P-25)	15:00-15:15	尾之内 佐和	北海道大学獣医学研究科解剖学教室	マウス十二指腸空腸曲の屈曲機序について
OP04-7	15:15-15:30	岡田 和訓	NIBB, OIIB	脊椎動物の咽頭嚢は異なる分節様式の融合により形成される
OP04-8 (P-26)	15:30-15:45	矢部 泰二郎	基礎生物学研究所	ゼブラフィッシュ体節形成における分節境界形成に伴う分節時計の停止機構

10月20日（木） 遺伝研企画「植物の発生」 / （世話人：小田祥久）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
植物	15:55-16:00	小田 祥久	遺伝研	イントロダクション
植物	16:00-16:15	長島 慶宜	遺伝研	自発的に細胞の形を作り出す Rho シグナルの解析
植物	16:15-16:35	津田 勝利	遺伝研	単子葉植物トウモロコシの茎における散在型維管束と節/節間のパターンニング機構
植物	16:35-16:55	稲垣 宗一	遺伝研	エピゲノム分化と植物発生に重要な"gene body"クロマチン修飾動態の解析

10月21日（金） OP05 受精・生殖 / 座長：相賀裕美子（遺伝研）・藤森俊彦（基生研）

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP05-1 (P-27)	9:15-9:30	高山 順	理化学研究所 生命システム 研究センター	線虫 <i>C. elegans</i> において精子 TRP-3 チャンネルが受精卵のカルシウム波を引き起こす
OP05-2 (P-28)	9:30-9:45	田中 翼	熊本大学 発生医学研究所	卵黄タンパク質受容体 <i>Yolkless</i> のエンドサイトーシス制御は細胞極性と生殖質の形成に必要である
OP05-3	9:45-10:00	吉成 祐人	筑波大学大学院生命環境科学 研究科生物科学専攻	雌性生殖幹細胞の増殖を制御する神経内分泌機構の同定
OP05-4 (P-29)	10:00-10:15	北館 祐	基礎生物学研究所生殖細胞研 究部門	精子幹細胞の数を決める仕組み
OP05-5	10:15-10:30	加藤 譲	国立遺伝学研究所発生工学研 究室	RNA 結合タンパク質が介する生殖細胞内因的な原始卵胞活性化の調節機構
OP05-6 (P-30)	10:30-10:45	関 由行	関西学院大学	生殖細胞形成機構の動物種を超えた共通原理と種特異性

10月21日(金) OP06 進化・初期発生 / 座長: 日比正彦(名古屋大)・天野孝紀(遺伝研)

No	時間	氏名	所属	発表タイトル
OP06-1 (P-31)	11:00-11:15	呉谷 文	Dept. of Biol. Scis., Grad. Sch. of Sci, Univ. of Tokyo	bHLH-WRPW 型転写因子 Hes 遺伝子ファミリーの hes5 クラスターに注目した起源と進化
OP06-2	11:15-11:30	田中 幹子	東京工業大学生命理工学院	サメ胚から探る鰭から四肢への形態進化の軌跡
OP06-3 (P-32)	11:30-11:45	北條 宏徳	東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻	ChIP-seq 解析を駆使した骨形成における転写因子 Sp7/Osterix の作動様式の同定と骨を有する脊椎動物進化との関連性
OP06-4 (P-33)	11:45-12:00	阿部 高也	RIKEN CLST 生体ゲノム工 学研究チーム	マウス着床後初期胚における細胞系譜解析
OP06-5 (P-34)	12:00-12:15	小田(石井)いずみ	京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻	ホヤ胚における母性因子による胚性発生プログラムの開始機構
OP06-6	12:15-12:30	日野 太夢	名古屋大学理学研究科生命理 学専攻	ゼブラフィッシュ Wnt8a は本当に背側決定因子か?
OP06-7	12:30-12:45	近藤 寿人	京都産業大学 総合生命科学 部	ヘンゼン結節周辺組織の発生能の再検討